学校番号	1011

令和８年度　(専)英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
(専)英語	(学)英語構文演習Ａ	2	2	Challenge 基本構文の理解と定着　英語構文 77

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語構文演習Ａの授業は、「基本的な英語構文を理解し、表現することができる」「進学に必要な英語力の基礎を確実なものにする」「英文の構造を理解しながら英語を読むことができる」ことを目標とする。
・上記の目標を達成するために、基礎的な構文を素材として取り上げ、演習問題に多く取り組ませる。言語活動については、主に「書く、読む」活動が中心になるが、必要に応じて「聞く」「話す」活動を取り入れて、効果的な指導を心がける。
・進学を希望するものが自主的に学習する態度・意欲をさらに伸ばすため、日常的に予習・復習・宿題を課す。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと発話される基礎的な構文が含まれる英文を聞いて理解することができる。	基礎的な構文で書かれた短い英文の内容を読み、正しく理解することができる。	日常的な事柄や自分のこと、身のまわりのことについて、基礎的な構文を使って簡単なやり取りをすることができる。	日常的な事柄や自分のこと、身のまわりのことについて、基礎的な構文を使って、わかりやすく発表することができる。	日常的な事柄や自分のこと、身のまわりのことについて、基礎的な構文を使って正しく書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の構文の働きの理解を深めるとともに、これらの知識を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」を通して、適切に活用できる技能を身につけている。	学んだ英語の構文を、様々な演習問題に取り組む中で、単なる知識としてではなく、目的や場面、状況に合わせて考え、判断し、適切に使用、表現する力を身につけている。	自主的に問題演習に取り組むとともに、学んだ英語の構文を活用して、積極的に日常的な事柄や自分のこと、身のまわりのことについて表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unit 1 It を含む構文	聞くこと	a: it 構文を含む英文を聞き、意味を理解することができる。 b: it 構文を含む英文を聞き、要点や概要を正しく把握することができる。 c: it 構文を含む英文について、注意しながら必要な情報を主体的に聞き取る力を身につけている。	リスニングテスト
		読むこと	a: it 構文を含む英文を読み、意味を理解することができる。 b: it 構文を含む英文を読み、書き手の意図を正しく理解することができる。 c: it 構文を含む英文の意味や構造を主体的に理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: it 構文を含む英文を正しく発音することができる。 b: it 構文を含む英文を目的、場面、状況に合わせて正しく使用し、表現できる。 c: it 構文を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを相手に伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: it 構文を含む英文を正しく書くことができる。 b: it 構文を含む英文を目的、場面、状況に応じて適切に書き分けることができる。 c: it 構文を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを書くことができる。	定期考査
	中間考査			
	Unit 2 助動詞を含む構文	聞くこと	a: 助動詞の構文を含む英文を聞き、意味を理解することができる。 b: 助動詞の構文を含む英文を聞き、要点や概要を正しく把握することができる。 c: 助動詞の構文を含む英文について、注意しながら必要な情報を主体的に聞き取る力を身につけている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 助動詞の構文を含む英文を読み、意味を理解することができる。 b: 助動詞の構文を含む英文を読み、書き手の意図を正しく理解することができる。 c: 助動詞の構文を含む英文の意味や構造を主体的に理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 助動詞の構文を含む英文を正しく発音することができる。 b: 助動詞の構文を含む英文を目的、場面、状況に合わせて正しく使用し、表現できる。 c: 助動詞の構文を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを相手に伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 助動詞の構文を含む英文を正しく書くことができる。 b: 助動詞の構文を含む英文を目的、場面、状況に応じて適切に書き分けることができる。 c: 助動詞の構文を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを書くことができる。	定期考査
	期末考査			
2	Unit 3 動名詞を含む構文	聞くこと	a: 動名詞を含む英文を聞き、意味を理解することができる。 b: 動名詞を含む英文を聞き、要点や概要を正しく把握することができる。 c: 動名詞を含む英文について、注意しながら必要な情報を主体的に聞き取る力を身につけている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 動名詞を含む英文を読み、意味を理解することができる。 b: 動名詞を含む英文を読み、書き手の意図を正しく理解することができる。 c: 動名詞を含む英文の意味や構造を主体的に理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 動名詞を含む英文を正しく発音することができる。 b: 動名詞を含む英文を目的、場面、状況に合わせて正しく使用し、表現できる。 c: 動名詞を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを相手に伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 動名詞を含む英文を正しく書くことができる。 b: 動名詞を含む英文を目的、場面、状況に応じて適切に書き分けることができる。	定期考査

			c: 動名詞を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを書くことができる。	
	中間考査			
	Unit 4 不定詞を含む構文	聞くこと	a: 不定詞を含む英文を聞き、意味を理解することができる。 b: 不定詞を含む英文を聞き、要点や概要を正しく把握することができる。 c: 不定詞を含む英文について、注意しながら必要な情報を主体的に聞き取る力を身につけている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 不定詞を含む英文を読み、意味を理解することができる。 b: 不定詞を含む英文を読み、書き手の意図を正しく理解することができる。 c: 不定詞を含む英文の意味や構造を主体的に理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 不定詞を含む英文を正しく発音することができる。 b: 不定詞を含む英文を目的、場面、状況に合わせて正しく使用し、表現できる。 c: 不定詞を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを相手に伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 不定詞を含む英文を正しく書くことができる。 b: 不定詞を含む英文を目的、場面、状況に応じて適切に書き分けることができる。 c: 不定詞を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを書くことができる。	定期考査
	期末考査			
3	Unit 5 分詞を含む構文	聞くこと	a: 分詞を含む英文を聞き、意味を理解することができる。 b: 分詞を含む英文を聞き、要点や概要を正しく把握することができる。 c: 分詞を用いた英文について、注意しながら必要な情報を主体的に聞き取る力を身につけている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 分詞を含む英文を読み、意味を理解することができる。 b: 分詞を含む英文を読み、書き手の意図を正しく理解することができる。 c: 分詞を含む英文の意味や構造を主体的に理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 分詞を含む英文を正しく発音することができる。 b: 分詞を含む英文を目的、場面、状況に合わせて正しく使用し、表現できる。 c: 分詞を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを相手に伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 分詞を含む英文を正しく書くことができる。 b: 分詞を含む英文を目的、場面、状況に応じて適切に書き分けることができる。 c: 分詞を含む英文を用いて、主体的に自分のことや身の周りのことを書くことができる。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度